

組曲『カレリア』から『行進曲風に』

シベリウス作曲

劇のためにつくられた音楽です。現在では劇は行わず、選ばれた3曲を「組曲」として演奏するのが主流になっています。『行進曲風に』は、そのなかでも演奏回数の多い曲です。



「カレリア」は、フィンランドの作曲家シベリウスが新婚旅行で訪れたフィンランドとロシアの国境付近にある地方の名前です。



シベリウスは、フィンランドの伝統や自然に根差した作品をつくっていました。そうした作品は、ロシアの圧政に苦しめられていた国民から尊敬を集め「国民の英雄」とよばれていました。

ここに注目!

- 2つの行進曲風の主せんりつ(アとイ)の特ちょう
- 主せんりつを演奏している楽器の変化

♪教科書を見ながら、主せんりつを演奏している楽器や特ちょうを確かめて聴きましょう。

<ふりかえり>

5か所のうち、演奏している楽器の音色が聴き取れたのは、何か所? ⇒ ()か所

♪この曲のなかで、耳に残ったところや気に入ったところを、「オクリンクプラス」でピンを立て、理由を書きましょう。

↓ 2回目の授業で書きます ↓

♪曲全体を通して、よかったところや面白かったところを「ここに注目!」の言葉に付け足しながら書きましょう。
